

北浦村の人口

昭和47年3月末日現在
(単位・戸、人)
世帯数 2,294(△2)
総人口数 10,714(△70)
男 5,231(△24)
女 5,546(△46)
△印は減少

第145号 (発行日) 昭和47年3月25日 (発行人) 北浦村長 勢司 治雄 (印刷所) さんゆう社印刷

第一回 定例会

47年度予算など決める

村議会は三月六日(月)より八日間の日程で第一回定例会を開催し、昭和四十七年一般会計予算など議案六件、決算認定二件が村長より提案されました。また、議員提出により村議会委員条例の一部改正案が一件提案されました。四・五日に村政全般の一般質問、質疑が活発に行なわれました。

提案された案件は、いずれも原案どおり可決、認定されました。



勢司村長

村長は昭和四十七年度一般会計予算案ならびに国民健康保険特別会計予算案を提案するにあたり提案説明を行ない来年度の施政方針を発表しました。

施政方針

昭和四十七年度一般会計予算案ならびに国民健康保険特別会計予算案を提出するにあたり、私の基本的な考えを申しあげ各位のご協力をお願いいたします。

予算をとりまく諸条件

昨年八月のニクソン声明以来、国際経済の変動は目切上げまでに波及し、国民経済に大きな打撃を

あたえている現状であります。

したがって、明年度国の予算案も租税収入等の減収から公債の増発により、ここ十年来の前年比二〇割増の大型予算で景気浮揚により国民経済を盛り上げようとしています。

これが対策は、社会資本整備のための道路、住宅等建設により、産業界を通じての景気浮揚と、社会福祉充実による年金増額、老人医療の無料化等を骨格として編成されております。

一方地方財政は、企業不振による法人税、所得税の減収により、県村民税の落ちこみはもちろん、地方財政の原資とも言うべき地方交付税への影響は甚大で、自治省のキャッチフレーズである「住みよい町造り」には、ほど遠い感があり、地法財政は極度に行き詰まるであろうと予想されます。

一般会計の見通し

さいわい本村としては、法人税の落ち込みも数社の企業で財政への影響は少なく、なお、地方交付税の落ち込みも、明年度充足する鹿行広域市町村圏が事業実施として指定され、交付税へのカサ上げ

日の長いのは夏至(げし)六月二十一日)前後ですが、春は冬の日の短かったのにくらべると、ずいぶん伸びたなあと思います。陽気がよくなって、朝の寝心地は格別ですが、宵の朝寝坊では感心できません。

新年度

このごろは役所ばかりでなく、一般の商店でも四月を新年度といっています。が、お子さんのいるお宅はとくに、進級、進学のお分もあらたに四月はなんとなくお正月とはまた違った、年度があらたまったという感じがするのふしぎです。

一日じゅう、お母さんの後を追いまわし、甘えていたお子さんが、ピカピカのランドセルを背負って出て行く姿は頼もしいかぎりです。あんなだつ子が学校へ行つて、ほかのお友だちと仲よくいっしょにやって行けるかしら……。ご心配は無用とはいませんが、案外子ども同志は、おたがいに遠慮があり、けん制し合っているものです。

学校での、そういう緊張のせいか、朝の元気さはどこかで消耗して、家に帰ってくるなりぼんやりとおくびをしながら、また、いさなりお母さんにかじりつくお子さんもあるとか。お母さんたちが、家事でおいそがしいころでしようが、お子さんが学校から帰ったら、まずこの緊張感をほぐしてやってください。



によりカバーされること、財政投融資計画中の地方債ワグが拡大されることにより、道路事業に係る単独事業債が伸び村財政は比較的明るい見通しであります。このような財政の見通しの上に立つて、さきに北浦村計画審議会に諮問し答申のあった、村振興計画三ヶ年実施計画を指針として「産業の振興」「道路の整備」「教育の充実」を柱に、住民福祉事業を推進します。

特に道路整備については、私の念願でもありますし、住民福祉にも直結するもので力点を置き、事業推進をはかります。

道路の整備

県道は土浦～大洋線の次木、小貫地先が未改良のままで、その他路線はほぼ舗装化により整備されましたので、本路線を重点に、昨年来陳情を続けてきておりますので、当該年度の事業実施には確信をもっております。

村道整備についても、すでに県道水戸線田原線起点として、東西に走る道路の舗装改良が着々実現され成果を収めておりますが、本年度は住民の生活と産業開発を兼ねた生活圏道路の整備を進める所存であります。

したがって、四十六年度までの舗装事業三万七千二百九十九と本年度計画の一万一千一百二十が完成すれば、主幹道路七万七千に達し五・八割の舗装率となり、住民要望にも答えられるわけです。その他道路改良と道路保全についても、次期舗装化に備え実施してまいりたいと存じます。

教育の充実

当面の問題は教育の基礎となる施設整備で静かなる環境の中で学力を身につけ、しかも、たくましい体力を養い、立派な社会人となる基礎づくりが理想かと考えられます。

しかし、近代社会における生活環境のテンポは早く、これに遅れないためにも、教育施設の整備は急務であります。限りある財政の中では一挙に解決することは不可能で、年次的に進めなければならぬと存じます。

すでに永久校舎として、中学校津澄小学校さらに四十六年度小貫小学校が完成いたしますので、本年度は新城小学校の建設と、今後の要小学校建設に備え、校地先行取得を計画いたしました。特にこの買収資金は起債に依存しておりますので、これが確保には地元議員各位のいっそうのお骨折りをお願いいたします。

なお、教育は社会資本のひとつでもあり、特に学校教育においては、教科指導員の設置により、先生方の資質向上をはかり、児童生徒の学力向上を高めたいと存じます。

社会教育については、経済追求の世相の中で物質文明が優先し、精神文明が遠ざかりつつある現状から、これが教育については、幾多の困難性がありますが、今後社会の発展する過程において、より多い刺激と行爲の中に発生する社会生活にあって欠かれないのが、社会教育であろうと存じます。

これら指導については、みじかな、しかも容易に、だれでも参加

産業の振興

第一次産業の占める比重が大きいため、農業の振興を重点に推進いたします。

終極の目的は、生産性の向上による農家経済の安定であり、これが施策、手段は種々あるかと存じますが、先賢が長年培って産地化された、特産物の助長と、消費生活への流動性等考慮しながら、常に産地は移動するのたとえ、新規作目の導入等じゅう後対策も考え振興をはかりたいと存じます。

つきに、生産性向上に伴う流通体制の確立であります。この数年來行政指導としては、農協を中核として促進努力し、これが高揚をはかってきたところであり、今更で先進地の事例から、おして知るべきですが昨年同様任意出荷組合をネットワークとした組織確立を道標に、農畜生産流通対策事業に重点を置き、単組との対話の機会をつくり、行政と経済行為を密着した指導を進める所存であります。

また、農業後継者育成についても、農業学園農業後継者専修研修生、ならびに経営研修生の派遣により、近代化がさげはれる今日、より高い技術と経営に対する教養の享受の機会をあたえ、後継者の

育成をはかります。

なお、これら産地形成、組織拡大による健全化、後継者の育成にあわせ、経営合理化に欠かれない要素である農道整備についても約三千五百メートルの改良を計画いたしました。

第二次産業である工業については、現在産業界の不振から企業の地方進出は考えられず、しかも現在世相から住民生活に被害をあたえる企業は考慮しなければならぬので、村内現企業による就労の機会により、住民経済を補なわざるを得ないと思ひます。

第三次産業である商業については、特に商工会の活動により、経営の近代化、合理化がなされておるところであります。最近大企業の地方進出が目覚ましいのがあり、かつモーターリゼーションの発達により、レジャーを兼ねた消費圏が拡大されつつあることは周知のとおりで、村内業者者には影響が大きく消費防止対策が必要であります。この問題で、今後商工会に課せられた大きな使命であらうかと思ひますが、ともども研究の上対処して行きたいと存じます。

その他

環境衛生事業で懸案であった、ごみ処理も本年五月をもって処理場が操業されるので解消されます。老人福祉、心配ごと相談事業も益々充実をはかりより良い社会づくりに専念いたします。

農業の生産面にあわせて、農村生活、文化の充実等をはかるため都市生活の合理性を導入し、住み

国民健康保険事業

特別会計である国民健康保険事業では、ここ数年間療養費が増加しております。これは、給付改善がなされ給付率が五〇割から七〇割に引き上げられたこと、数次にわたる医療費の改定等が大きく作用した結果であります。

すでに本年二月から医療費が一三・七割引き上げられ、さらに老人医療費の無料化がなされると給付費の増加は必然的で、したがって財政も膨張し、税の増徴は避けられないものと予想されます。

さいわい本村では、予防衛生事業の指導徹底により、昨年度より受診率の定着化が目立ち、療養費が安定してきましたので、昨年度の税負担で運営できる見通しであります。

行政の適正化

以上申し上げました施策を推進し、村勢の発展を期するため、社会資本整備のための先行投資は、極力資金導入により運営することにも、行政面においても、職員研修等により資質の向上をはかり住民サービスに努める所存であります。

第一回定例会 可決された主な議案

★村一般会計補正予算（8号）

昭和四十七年一般会計予算の最終補正予算で一千七千七百四十の増、総額四億九千七百七十七千二百五十五円八千四百増。自動車重量税及び自動車取得税交付金二百八十三万五千円増。地方交付税六百三十四万九千四百増などです。

歳入の主なもの、大型ダンプ（八トン）一台の購入三百八十八万、界杭二百六十五万、県道改良負担金三百万円、神田橋かけ替工事等です。

★村特別会計補正予算（2号）
国民健康保険特別会計は九百九十八万二千円が増加、総額一億一

千二十六万四千円です。

歳入の主なもの、繰入金一千四百四十七千四百増、国庫補助金六十万円増、国民健康保険税七十七万五千円減です。

歳入の主なものは給与改定による人件費の増加、療養給付費一百五十六万四千増、基金準備積立金三百三十一千円増、予備費六百八万四千増です。

★昭和四十五年 村一般会計歳入歳出決算認定について
歳入歳出の内訳は、別表一のとおりです。

★村固定資産評価審査委員の選任
同意について
成田乾隆氏（南高岡）の任期満

了にともなう任命同意ですが、同氏が再任同意されました。

★鹿行地方広域市町村圏事務組合の設置について
昭和四十四年度から自治省の重点事業として推進している広域市町村圏は、各地域で振興整備が進んでいきます。鹿行地方でも昨年設定され、広域市町村圏計画の策定準備作業を進めてまいりましたが、この四月より正式に計画の策定、実施、連絡調整および畜場、軽費老人ホームに関する事務の共同処理機構―広域市町村圏事務組合を設置するため議会の議決を得るものです。

★昭和四十五年村国民健康保険特別会計決算認定について
歳入歳出の内訳は、別表二のとおりです。

歳 入 別 表 2			
収入科目	予 算 現 額	収 入 済 額	割 合
国民健康保険税	41,962千円	42,046千円	40.0%
使用料及び手数料	5	12	0.0
国庫支出金	48,913	52,341	49.9
県支出金	150	121	0.1
繰入金	1	0	—
繰越金	8,803	8,803	8.7
諸収入	416	1,450	1.3
合 計	100,250	104,773	100.0

歳 出			
支出科目	予 算 現 額	支 出 済 額	割 合
総務費	9,712千円	8,431千円	9.7%
保険給付費	82,833	74,164	85.7
保健施設費	317	232	0.3
公債費	1	0	—
基金積立金	3,775	3,775	4.3
諸支出金	1	0	—
予備費	3,611	0	—
合 計	100,250	86,602	100.0

第二回臨時会

可決された議案

★村教育委員の任命同意
高柳衛氏（67）の任期満了にともなう任命同意ですが、同氏が再任されました。

★村職員給与条例の一部改正
人事院勧告により国家公務員の給与制度が改正されたことにともない、本村職員についてもこれに準じて改定するための条例の一部改正です。

★村非常勤特別職の報酬、費用弁償条例の一部改正
行方郡特別職報酬等審議会答申により村議会議員の報酬が改定されることによりこれとの均衡上改正するための条例の一部改正です。

★村議会議員の報酬、費用弁償条例の一部改正
人事院勧告により国家、地方公務員の給与改定することにより、村

務員の給与が改定されることにより、行方郡特別職報酬等審議会において、現行の報酬を改正することが適正である旨の答申があったため、条例の一部改正です。

★村常勤特別職の給料、旅費条例の一部改正（三役）
★教育長の給与、勤務時間等条例の一部改正（教育長）
人事院勧告により国家、地方公務員の給与が改定されることにより、常勤の特別職（三役）ならびに教育長の給料、給与が現行で適正であるかどうかについて行方郡特別職報酬等審議会に諮問したところ、改定することが適正である旨の答申があったため、条例の一部改正です。

★村一般会計補正予算
人事院勧告により国家公務員の給与が改定されることにより、村職員給与改定です。

歳 入 別 表 1			
収入科目	予 算 現 額	収 入 済 額	割 合
村 税	58,267千円	58,174千円	12.0%
自動車取得税交付金	8,624	8,894	1.8
地方交付税	193,038	193,038	39.9
交通安全対策交付金	60	0	—
使用料及び手数料	1,749	1,755	0.3
国庫支出金	52,676	52,831	10.9
県支出金	11,302	11,425	2.3
財産収入	1,317	1,698	0.3
寄付金	2,011	2,010	0.4
繰入金	23,376	23,376	4.8
繰越金	12,234	12,234	2.5
諸収入	42,373	43,371	8.9
村 債	74,720	74,720	15.5
合 計	481,747	483,526	100.0

歳 出			
支出科目	予 算 現 額	支 出 済 額	割 合
議会費	11,850千円	11,821千円	2.5%
総務費	60,489	58,989	12.4
民生費	11,681	11,211	2.5
衛生費	12,518	11,718	2.5
農林水産業費	47,903	47,238	9.9
商工費	924	905	0.2
土木費	90,180	89,475	18.8
消防費	7,592	7,462	1.6
教育費	22,268	220,709	46.3
公債費	15,382	15,376	3.2
諸支出金	290	289	0.1
予備費	250	0	—
合 計	481,747	475,193	100.0

広域市町村圏 新しい生活圏行政

広域市町村圏の趣旨は、市町村の新しい生活圏行政を展開しようとするもので、関係市町村が広域行政機構を設置し事業を実施するものです。

鹿行地方（鹿島郡・行方郡の町村）も圏域が昨年設定されたのにもない鹿行地方広域市町村圏協議会を結成しその諸準備（基本構想、基本計画、実施計画の樹立等）を進めてきましたが、鹿行各町村の三月の定例議会で広域行政機構の規約を議決し四月一日に一部事務組合を発足させる計画です。

以下広域市町村圏のしくみについて概要を説明しましょう。

一、広域市町村圏のねらい

広域市町村圏の施策は、市町村の新しい生活圏行政を展開しようとするもので、私たちの生活水準は急速に上昇し、農村においても都市的生活様式を営むようになりつつあります。

道路の舗装、上下水道、ごみ、し尿処理といった公共施設の整備は非常に必要とされています。私たちの身近にあって、住民の日常生活に必要な行政サービスを提供することを任務とする市町村は早急に公共施設を整備する必要があります。

生活圏といったものがたつたてられていく。この住民の日常生活圏を一体とした行政を行なうためには、市町村は共同して協力体制をとらなければならない。広域市町村圏は、このような市町村が当面している問題を解決しようとするものです。

二、広域市町村圏の骨組み

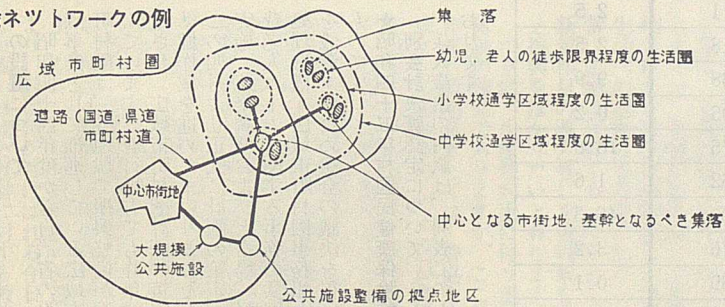
一、広域市町村圏の設定

広域市町村圏の設定される地域は都市とその周辺の農山漁村を一体として形成されている日常生活圏が対象になり、知事があらかじめ自治大臣と協議の上、関係市町村と協議し圏域を設定します。

二、広域行政機構

広域市町村圏が設定されますと、広域行政機構を設置します。広域行政機構とは圏域内すべての市町村が加入している、一部事務組合または協議会をいい、広域市町村圏計画を策定するとともに、計画に基づく事業の実施、連絡調整を行なうものです。

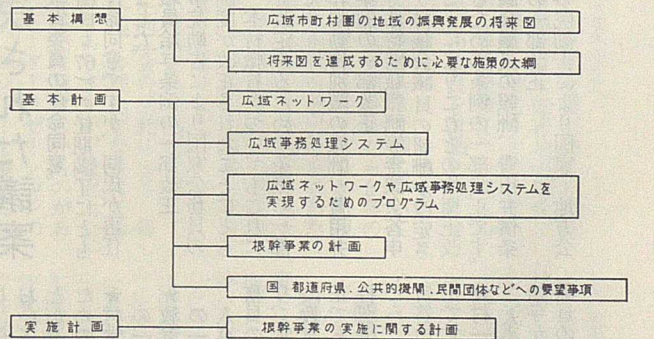
◎広域ネットワークの例



事務組合を設立することで準備をすすめているので、計画に基づく事業も実施されます。

3 広域市町村圏計画

広域市町村圏計画では、関係市町村が協力して、広域市町村圏の地域を将来どのような地域にするか、将来のビジョンを定めます。



基本構想				
基本計画				
S46	S47	S48	S49	
	S47	S48	S49	S50
		S48	S49	実施計画

4 国の財政援助

広域市町村圏計画の策定や広域市町村圏計画に基づく事業の実施に対しては次のような国の財政援助があります。

① 広域市町村圏計画の策定費用に一圏域当り百五十万円

② 広域市町村圏計画に基づく根幹事業に一圏域当り二千万円

③ 広域市町村圏計画に基づく根幹事業の費用について地方交付税が嵩上げされます。本村の場合は昭和四十七年より三ヶ年毎毎年約二千八百万円嵩上げされます。また、地方債についても優先的に認められます。

以下次号につづく

村振興計画を策定

田園都市建設を目標に

村の諸事業については、昭和四十三年十二月に計画審議会より答申された、北浦村振興計画の基本構想、実施計画を基本として進められてきました。

振興計画の実施計画は、昭和四十六年度で完了します。本年一月昭和四十七年より三ヶ年の実施計画を村計画審議会（議会、農業団体代表等）からなる審議会（機関）の答申を得て決定しました。

計画樹立の方針

鹿島開発は急ピッチで進められていますが、鹿島後背地のうちでも田園地域に属している本村としては、鹿島臨海工業地帯の飛躍的發展と調和のとれた「近効農業と観光を配した水郷田園都市」を創ることとしている基本構想を指針とし、当面の課題であり

一、産業の振興

二、道路の整備

三、教育の充実

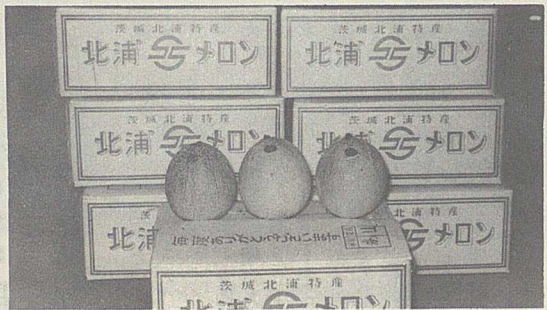
を重点施策としましたが、今回の計画期間中は、道路の整備に特に重点がおかれております。

計画の概要

一、産業の振興

産業の振興については、本村の約八〇割を占める農業の振興に重点をおいて推進します。

農業は米の生産調整、作目選択の困難性、貿易の自由化に伴う農



農産物流通機構の整備は急務だ

産物の問題等多くの困難に直面しており、さらに農業以外の経済社会の変動、国・県の政策分野と深く関連する問題を有しており、農政の展開にあたっては、かなりのむすかしが存在しております。農村発展の課題に対処するためには、国・県の農業施策、首都圏の食料需要の動向、県内都市化の進展を考慮しながら、

農業構造の改善

農業生産物流通の合理化

農業後継者の育成

農地利用の高度化

農協の整備強化

等を農業施策の方向として推進します。

商工業については、食料品、日用品雑貨等の小売業が主体であるが道路の整備、交通手段の発展により、村外への流出消費額が増大していく傾向にあり、当面の課題として流失消費額の防止対策が第一にあげられるので、このためには、地域社会において、充分経済価値のある店、消費者に満足を与えることのできる店に経営の改善をしなければならぬので、村としては商工会の強化に努め、商工会を中心として、全会員が積極的に経営の改善をはかるよう推進します。

道路の整備

道路は私たちの生活と産業の基礎施設として地域の発展をはかる社会資本であり、今回の実施計画では最重要事業です。

幹線の道路と生活圏道路を主に改良舗装をすすめます。

農道改良舗装、林道新設改良と併せて三ヶ年間に次のとおり実施する計画です。

改良・舗装は身近まで伸びます

改良延長 三万八百五十一メートル

舗装延長 四万六千六百一十一メートル

このほか県営事業で行なわれている第二次農免道路が昭和四十八年に完成する予定です。

県道については、土浦・大洋線（小貫・次木地内）鳥並・鉾田線の改良舗装を促進します。

教育の充実

静かな環境の中で学力を身につけ、しかも、たくましい体力を養い、立派な社会人となる基礎づくりが理想であります。学校教育、社会教育両面において、当面の課題として、施設計画に重点をおき、教育の振興をはかります。



改良・舗装は身近まで伸びます

改良延長 三万八百五十一メートル

舗装延長 四万六千六百一十一メートル

このほか県営事業で行なわれている第二次農免道路が昭和四十八年に完成する予定です。

県道については、土浦・大洋線（小貫・次木地内）鳥並・鉾田線の改良舗装を促進します。

教育の充実

静かな環境の中で学力を身につけ、しかも、たくましい体力を養い、立派な社会人となる基礎づくりが理想であります。学校教育、社会教育両面において、当面の課題として、施設計画に重点をおき、教育の振興をはかります。

主な施設計画は次のとおりです。

1 新城小学校防音改築工事

2 要 小学校防音改築工事

3 小貫小学校屋内運動場新築工事

この外消防施設の整備、地籍調査、広域行政による、ごみ処理事業、と畜場の建設、軽費老人ホームの建設等が主な計画の概要です。

4 三和小学校屋内運動場新築工事

5 柔剣道場新築工事

6 総合運動場敷地購入

田園都市建設事業

いま各種の農業生産対策が進められ、また、学校、公民館も立派に新築され、農村における生産生活の場である集落に、一歩入ると昔のままの所が多く、集落整備は非常に必要とされています。

農村の若い働き手が、都会へ、他産業へと向い農業後継者が少なくなっていることは、農村生活の不合理性が人間生活の場として魅力をなくさせていることが、大きな原因の一つであると言われています。

農業の生産、経済面の改善とあわせて、農村生活、文化の充実等をはかり、住みよい集落づくりを推進するため、成田郡をモデル集落に指定し、農村における生産生活に社会生活環境の総合的整備をはかり、明るく住みよい農村の建設をはかります。

昭和四十七年度国の一般会計予算は景気浮揚と社会福祉を一本の柱にして編成したといわれているとおり、高福祉社会実現のため、老人福祉の向上

心身障害児者福祉の増進

母子、寡婦家庭福祉の充実

北浦村社会福祉協議会事業の推進

などを積極的に推進します。

この外消防施設の整備、地籍調査、広域行政による、ごみ処理事業、と畜場の建設、軽費老人ホームの建設等が主な計画の概要です。



予算を審議する村議会

おもな事業費

(万円未満は切捨て)

土木費

車両整備事業	150
舗装・補修事業	7656
道路改良・排水整備事業	2874
橋りょうかけ替・補修事業	423
災害復旧事業	100

教育費

小学校管理費	982
小学校建設費	5523
中学校管理費	531
公民館事業	249
保健体育事業	57
学校給食管理費	2762
三育幼稚園助成費	326
県立高校建設負担金	209
小・中児童生徒机・イス更新	84
交通トレーニングコース	60
学力向上対策協議会補助	30

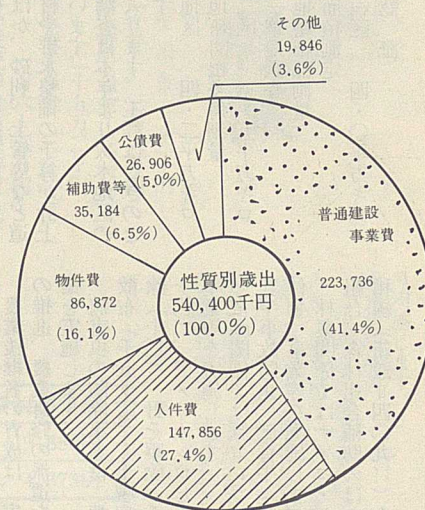
農林水産業費

就業近代化事業	21
空中防除事業	228
土壌病害虫防除事業	65
豚コレラ自衛防疫事業	145
乳牛事故防止事業	14
肥牛導入事業	244
農道整備事業	606

「道路」

5億

性質別歳出



農免道路北浦西線事業	451
林道整備事業	556
水産振興事業	46
地籍調査事業	1224
村農業協同組合育成補助金	300
郡農業共済組合事務所建設補助金	91
村農畜産物流対協補助金	30
みつば病害虫防除補助金	24
たばこ病害虫防除補助金	24
田園都市建設事業	1394

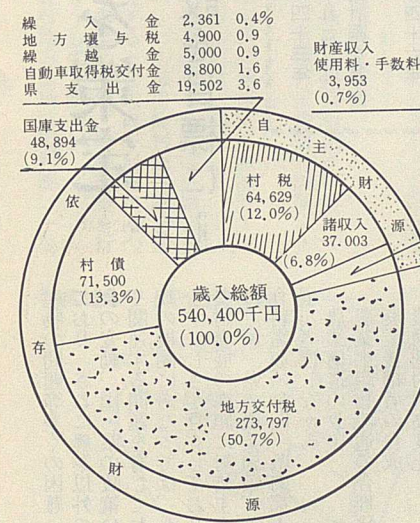
民生費

戦没者慰霊事業	45
老人健康診査事業	15
老人クラブの助成	85
老人家庭奉仕員事業	44
敬老会事業	71
児童手当支給事業	627
心配ごと相談所補助	30
村社会福祉協議会補助	40
老人福祉センター分賦金	170
児童館・遊び場設置補助	30

「教育」「産業」を重点に

4040万円の村づくり

歳入総額



衛生費

結核予防事業	102
予防接種事業	132
ガン検診事業	60
助産事業	110
母子健康指導事業	15
麻生町外1町1村ごみ処理組合負担金	558
ごみ運搬委託料	150
ハエ・ネズミ駆除・防疫薬剤	144

総務費

交通安全整備事業	558
防犯対策事業	58
公用車購入	120
庁舎増築(更衣室・便所)	172
事務用備品購入	113
広報発行	56
鹿行地方広域市町村圏事務組合負担金	119
農業基本調査	33
指定統計	15
交通災害共済加入推進事業	17

村税収入の内訳

収入科目	金額 (千円)	比率 (%)	住民1人当たり (円)
村民税	10,833	16.8	973
固定資産税	32,334	50.0	2,905
軽自動車税	3,460	5.4	311
たばこ消費税	13,000	20.1	1,168
電気・ガス税	5,000	7.7	449
木材取引税	2	—	—
合計	64,629	100.0	5,806

消防費

団員研修	30
消防施設整備事業	698

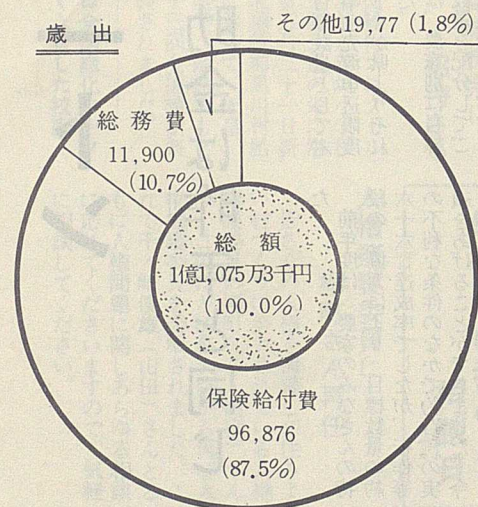
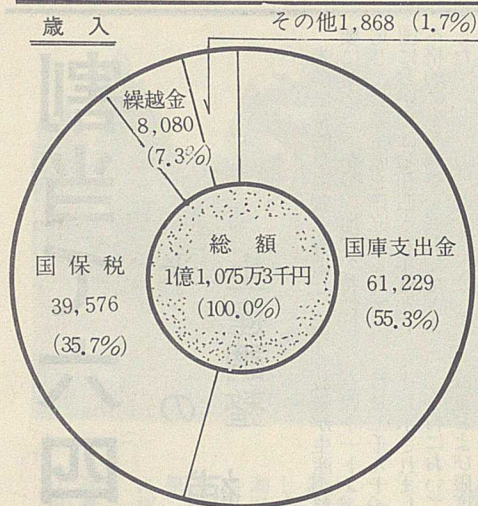
議会費

議会研修事業	48
--------	----

国・県などから四億三千四百万円

依存財源は八〇・五パーセント

村の予算は、何んといつても村民の方に納めてもらう税金が基礎ですが、収入のうち国と県からの地方交付税や国・県支出金として入ってくる額は三億五千五百三十三千円で収入予算の六五・九割を占めています。さらに、村債(長期借入金)や繰越金などを含めた、いわゆる依存収入は四億三千四百八十一万五千円となり収入予算の八〇・五割近くを占めています。ということは村独自の収入は一億五千五百五十八万五千円ぐらいいかないということです。これだけでも北浦村の台所はたいへん苦しいということがおわかりと思います。村独自の収入のうち村税は、六千四百六十二万九千円で収入予算の一二割を占めていますが、この割合が大きければ大きいほど財政の豊かな村といわれます。この村税の中には、別表でおわかりのように七科目の税に分れています。この中で、村民税については、各種控除、非課税限度額等の引き上げや農業所得の減収により伸び率は横バイの状態であります。



蔵入の主なものとは国民健康保険
 税の前年比六十四万二千円減と税
 負担額は実質大幅に軽減、国庫支
 出金一千三百六十六円増、繰越金三
 百八十四円増などであります。税負
 担額は別表のとおりです。
 歳出の主なものは一般的な管理
 費である総務費は一百二十八万四
 千円増、保険給付費は一千二百七
 十万円増です。保険給付費の内訳
 は、

★療養諸費	九千二百九十一万四千円
★助産費	一万円
★葬祭費	百二十件 百二十万円
	百件 五千万円
	五十万円

昭和47年度
国民健康保険
税負担を軽減

★育児手当金 三千元
百二十件 三十六万円
★妊産婦医療手当金 三〇〇円
二十五十万円
★高齢者医療手当金 三〇〇円
一百六十五万円
そのほか住民の健康保持ならびに食生活改善事業を実施します。
★寄生虫検査 (第二年次)
行戸・小幡・南高岡・北高岡・小貫地区住民の寄生虫検査と無料による集団駆虫を実施し、被保険者の健康保持増進をはかるものである。検査は、茨城県国民健康保険団体連合会に委託し、採便缶等の配布、とりまめは区長・班長・衛生協力員のみなさんの協力による。

区 分	診 療 費	保険税調定額
1世帯当り	65,523円	19,886円
1人当り	14,134円	4,373円

★食生活改善
食生活改善推進委員により、婦人会・若妻会等にはたらきかけ、食生活の改善を推進します。

また、キッチンカーによる料理教室を開催し、栄養学を中心とした衛生教育を行います。

募金取締条例について

★募金および寄付とは
「募金」とは、どのような名義を用いるにかかわらず、多数人（法人や団体を含みます）に寄付を促す行為を指します。
また「寄付」とは、金や品物などの供与や交付で、債務の履行としてなれるものの外のものを含みます。

5万円以上は
県民室へ届出

- (3) 社会福祉事業法など法令の規定にもとずき行なうもの
- (4) その他知事が特に定めたもの

★募金許可の手続き

募金を行なうとするときは、その開始の十五日前までに次の事項を記載した所定の申請書を所管の地方県民室に提出し許可を受けることとなります。

- (1) 募金責任者の住所、氏名

(2) 募金を必要とする理由
(3) 募金の期間および方法
(4) 募金すべき金品等の総額又は数量
(5) 募金従事員の住所・氏名・年令・履歴・募金担当区域及び報酬額
(6) 募金に要する経費予算
(7) 募集金品等の管理及び処分方法

★その他

(1) 募金に際しては、募金責任者及び募金従事員は常に許可証又はその写を携帯し、関係官吏の請求があったときはこれを提示しなければならない。

(2) 寄付は、あくまで自由意志にもとづくものであり、寄付を強要することがあってはならない。

(3) 募金責任者は、募金を中止したときや終了したとき、又は募集期間が満了したとき、及び募集金品等の処分をしたときは七日以内に収支計算書を添えて、地方県民室に報告すること。

(4) 許可を受けないで募金を行なったり、申請書に故意に虚偽の記載をしたり、定めた報告をしなかったり、関係吏員の調査を拒んだりすると罰せられます。

 総務費

総務費は総予算の一五・一割を占め、内容を見るとその大半が人件費や物件費など義務的経費です。事業のみをひろって見ると

☆交通安全全反射鏡 十三面
☆交通安全ガードレール 六五五箇 六ヶ所
☆庁舎増築(更衣室・便所)
☆公用車購入
☆公害対策・消費生活展
☆駐在所巡回用バイク三台
☆漁業調整委員選挙
☆広報の発行(十二回)
☆農業基本調査
☆指定統計(事業所、商業統計等

このほか、村税の課税徴収にかかる経費、広域市町村圏の負担金等が計上されています。

消防費

本村では初めて水槽付消防自動車ポンプを購入します。これが財源としての、航空自衛隊百里基地周辺の消防施設国庫補助²を見込んでいます。このポンプ車は山田に配置、従前の小型自動車は繁昌に配置替の予定です。また、長野江の可搬動力ポンプを更新します。

そのほか、防火貯水槽を六基新設、防火貯水槽スラップ(ふた)九基設置、消防器庫を繁昌に新設、火の見塗装五基を予定しています。

土木費

村民から要望の強い、村道の改

農林水産業費

☆農業を基幹とする本村は、これまで産業の発展のため幾多の施策を推進してきた。

特に、農業生産性の向上、流通体制の確立、農業後継者の育成を基本に、ことしも多くの事業を実施します。

土地改良ならびに農免道路などによる農道整備事業は、改良二線調査設計二線です。

(改良)

☆小幡逆川～中根庚申塚
八七〇メートル

☆北浦西線
三五二〇メートル

の一部

商工費

北浦村商工会補
助、つり舟案内組
合補助です。

歳出のあらし

☆大和田橋・島並鉾田線
調査設計）
☆馬渡・本宿線 一五〇〇ト
農業後継者の育成は、家族協定の推進、農業研修の派遣などの事業を実施します。
病害虫の防除事業は、農業空中散布（千五百ト）、土壌病害虫防除（十ト）、野を駆除（千五百ト）、アメリカシロヒトリ防除（十ト）、事業等を実施します。
畜産関係では豚コレラ自衛防疫乳牛事故防止、肥育牛（壮令）貸付金、事業等を実施します。
林業関係ではナメコ・シイタケ組合、森林組合補助のほか林道三組合（新設）四〇九ト）が着工と線）

衛生費

環境衛生事業では麻生町、玉造町、北浦村の三町村の手により、麻生町に長年の懸案であつたごみ処理場が五月に完成の予定で、処理にともない六月からごみ収集週二回に完成の予定で、四月一日よりは成田にごみ捨場を新設します。（12頁参照）また、ハエ・ネズミの駆除薬剤を各戸へ配布します。

住民を病氣から守る予防衛生では結核検診・予防接種・ガン検診を計上しています。

母子健康センターの事業としては、助産事業のほか妊産婦検診・

教育費

予算の中で、支出の一番多い科目です。学校施設の整備としては、新設小学校校舎の防音改築工事、交通トレーニングコース、要小學校敷地購入等があります。

公民館事業としては生花教室（三教室）、作法教室（一教室）、料理教室（一教室）、家庭教育学級（一学級）、婦人学級（一学級）サイエンス学習会、郷土をよめる研究集会など数多くの教室・学級を予定しています。また、結婚相談所の開設、フラワーロードを設置します。

保健体育事業としては小・中学校父兄を中心としたママさんバレーボール、お父さんソフボール、体力づくり運動を展開します。そのほか村内青少年を対象として、キャンプ教室、体力テスト、卓球教室を実施します。

◆ 民生費

乳幼児検診・母親学級・新婚学級
など検診・啓発事業を計上して
います。

◆民生費

この内容を見ると社会福祉の向
上の施策として、老人福祉・児童
福祉をはじめ種々の事業が計上さ
れています。

老人家庭奉仕員（ホームヘルパ
ー）制度を設置（一名し、独居
老人、寝たきり老人の福祉の向上
をはかります。また、老人健康検
査、老人クラブ助成、敬老会の開
催等を実施します。

そのほか、本年より開始された
児童手当の支給、心配ごと相談所
の助成、児童館ノ遊び場設置補助
します。

割当て六四一トン

米の生産調整 補助金は昨年と同じ

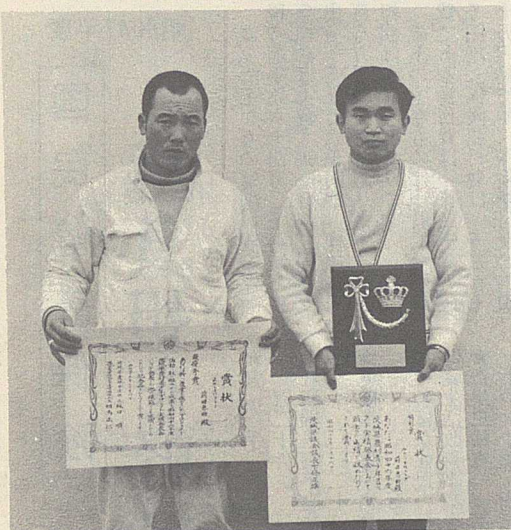
米の恒常的な過剰を解消し、需に
要に対応し、かつ、地域特性に
応じた農業生産を確立するため、
国においては昭和四十六年度から
本格的に生産調整を展開してきま
した。
本年度（四十七年）も前年と同

数量が生産調整目標数量として六
百四十一トン、事前売渡申込限度
数量二千九十一トンが県よりそれ
ぞれ示されました。
本村においては、農家に目標
数量および限度数量を配分してこ
協力をお願いすることになりました

プロジェクト発表会に入賞

前田恵助くん

写真右



農林大臣賞に輝く五月4日クラブ

さる三月九日、東京都、オリン
ピック総合青年センターにおい
て開催された全国青少年農業者会
議の席上、模範農業青年グループ
として、吉川五月（さつき）4日
クラブが農林大臣賞を受賞しまし
た。
五月4日クラブは現在クラブ員
十二名により構成され、4日精神
にそい農家の日常生活の中から、
身近な問題を取り上げ、これを解
決するため各種事業に取り組んで
います。特に各種の研究集会への
参加、先進地及び諸先輩との交流
プロジェクトの研究により自立農
業経営者としての知識や技術の修
得に取り組んでいます。
同クラブの代表大久保修君は次
のように語っています。「私たちが
今回、農林大臣賞は次の二点に
よるところが大であると思います。
一つはクラブ活動の中に剣道を、
取り入れたことです。私たちは、
各種の集会に参加してきましたが

奨励金等については前年同様、
休耕が約三千円、普通転作が約三
千五百円、特別転作（永年作物・
集団転作）が約四千円です。
また、調整面積等は若干緩和さ
れ飯沼の場合一アール以上（昨
年三アール以上）となり、昨年は
「セリ」などの苗田で該当になら
なかった方が今年は、該当するよ
うに改善されました。
なお、このしん生産調整目標六
百四十一トンの割り当ては、近く推
進協議会を用いて村の方針を定め
個人別の予約限度や生産調整の数
量、面積などを計算してお知らせ
することになっています。

県公害条例を改正

家畜飼養の
規制など設ける

汚水に係る 特定施設

特定施設

- (1) 肥育豚は百平方メートル以上または
百頭以上飼養するもの。
 - (2) 繁殖豚は千平方メートル以上または
百頭以上飼養するもの。
 - (3) 牛は二百平方メートル以上または二
十頭以上飼養するもの。
 - (4) 馬は二百平方メートル以上飼養する
ものに限り。
- なお、畜舎のうち、肥育豚の飼
養に用いる三百平方メートル未満または
三百頭未満飼養するもの、繁殖豚
の飼養に用いる三千平方メートル未満ま
たは三百頭未満飼養するもの、牛
の飼養に用いる六百平方メートル未満ま
たは六十頭未満飼養するものおよび
馬の飼養に用いる七百八十平方
メートル未満飼養するものについては、
昭和四十八年一月一日から適用さ
れます。
くわしいことは調査企画室へお
問い合わせください。

農協欄

農協事務所の防犯について

最近、連続して農協の事務所が
強盗におそわれ、現金が奪われて
いますので、当農協も次のように
心がけています。

- (1) 保険に加入し、万一盗難に会
っても現金の損害をなくする。
- (2) 常に保管現金を少額にする。
- (3) 犯人が侵入した場合、ただち
に探知できるようにした。
- (4) 警察署に依頼して、巡回し常
に警戒してもらっている。
- (5) その他、宿直者は、盗難や火
災について、とくに警戒を厳
重にしている。

なお、多額の現金払戻しを受け
る方は、事前に通告されるようお
願いします。

消費者によるこぼれる
米をつくりましょう

四十六年度米の作付状況は、次
表のとおりで最近の米の事情から
大部分が食味のよい品種にかわり
ました。もつとも食味がよく、茨
城米の代表品種とされるコシヒカ
リが第一位で三百ヘクタール、同
じく奨励品種であるトドロキワセ、
日本晴をあわせると五百四十ヘクタール

農集

ダイヤル直通

三月八日午後二時より、北浦の
農村集電話（農集）へ市外から
かける場合は、すべてダイヤル直
通でかかるようになりました。市
外局番（〇二九二八五）の何番（
加入番号）と続けてダイヤルしま
すとつながります。
一般加入電話は従来どおりです。

善意

老人にツエを贈る

三月一日、北浦中学校二年六組
三年七組の生徒代表三名は、老人
福祉センターを訪れ手製のツエ四
十本をお年寄りに長生きしてもらい
たいと持参しました。
老人福祉センターでは、この善
意のツエを多くのお年寄りに利用し
ていただくことになりました。
生徒たちは昨年の秋も、お年寄
の目を楽しませたいと、センター
裏庭に花を植えるなど善意は多く
のお年寄りに喜ばれています。



新緑小学校

全国植樹祭に

招待さる

全国緑化コンクール

に参加した新緑小学校
は、今回入選の栄に浴
し来る五月二十一日新
潟県北浦原郡黒川村胎
内平において、天皇、
皇后陛下ご臨席のもと
第二十三回全国植樹祭
に招待されました。

写真は全国緑化コンク
ールで入賞した校庭

5の日は税の 相談日

人権擁護委員に

柳町さん再任

皆さんの人権を擁護して住みよ
い村づくりに努力されている人権
擁護委員の柳町久子（内宿）さん
は、このほど法務大臣から再び人
権擁護委員を委嘱されました。
これで千々崎俊雄（山田）さんとこ
もに人権問題に関しあられる相談
にに応じてくださいますので、気軽
に相談してください。



「まだ渡れる」
は
「もう危ない」

みんなで
安全確保



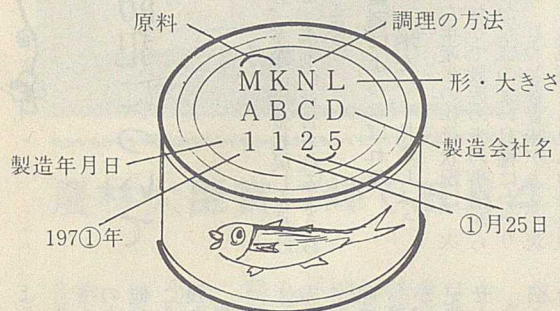
新入学（園）児童を
交通事故からまもり
ましょう

※くらしのチエ※

商品の表示

◎缶マーク

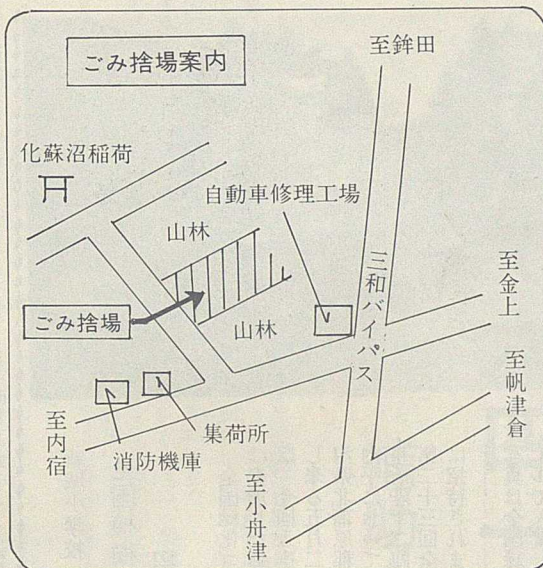
- ◇かん詰の上面についている記号は上から内容、製造会社名、製造年月日を表わしています。
- ◇左端の1は西暦の最後の数字2番目の1は1月……月は10月は0、11月はY、12月はZで表わされます。右端の25は25日……1～9は01～09で表わされます。



原料の種類別	調理の方法例
C S さ け	N 魚類・畜肉類の水煮
M K さ ば	W 野菜水煮
M O みかん	Y 果実糖液づけ
O R パインアップル	C 味 付
B F 牛 肉	J M ジャム

次回は飲用乳の表示について特集します。

形態・大きさ例	
L	大
M	中
S	小
X	混合(スライスフレーク)
T	極 小



※ごみ捨て場を変更※

現在のごみ捨て場(山田)は三月三十一日で廃止します。あらたに、四月一日よりごみ捨て場を成田地内に変更します。また、ごみを捨てるときは、次のことにご協力ください。

- ① できるだけ先へ投げる。
- ② 道路ぎわへは、捨てないこと。
- ③ 家屋の解体材料等は捨てないこと。

なお、現在広域行政の一環として、ごみ処理場を建設中ですが、この操業は五月から開始いたします。

老人家庭奉仕員を募集

村では、社会の片すみで孤独と生活苦に耐えている老人・老衰で元気がなくなったり、心身の障害などで日常生活にこと欠いている老人に対し、身の回りのお世話や食事・洗たく・掃除など、また、話し相手になってあげたり、暖い手を求めている老人に限りない勇気をあたえてくれるかた、老人家庭奉仕員を募集しています。希望者は住民課において願います。条件としては、1 給与等は月額三万七千円の報酬のみとする。3 自宅よりの出勤とし奉仕活動を役場に二週間に二回出勤報告のこと。

利用したい

母子福祉資金

母子福祉資金は生計の中心である夫が死亡したり、夫の扶養を受けられなくなった母子などに対して資金を貸付け、自立するために役立ててもらおうという制度の資金です。

この資金を借りられる人は、現在二十才未満の子を扶養し、①夫と死別した人(内縁関係を含む)②離婚した人で、現在結婚していない③夫の生死がはっきりしていない④夫が精神または身体の障害で長期間はたけなないため、扶養をうけられない人⑤結婚していないで母となつた人で現在結婚していない人などです。

貸付金の種類は、事業開始および継続・技能習得・療養・生活・住宅・転宅・就職支度・修学・就業支度をするための資金です。くわしいことは、役場住民課でおたずねください。

運転免許学科

試験かわる

この四月から、運転免許の学科試験は法令、構造の二本立て試験をやめ、「自動車の運転について必要な知識に関する学科試験」として、一本に統合されます。この新しい学科試験問題は、国家公安委員会から公表される「交通方法に関する教則」の内から出題され、解答は正誤式の筆記試験の方法で行なわれる予定です。